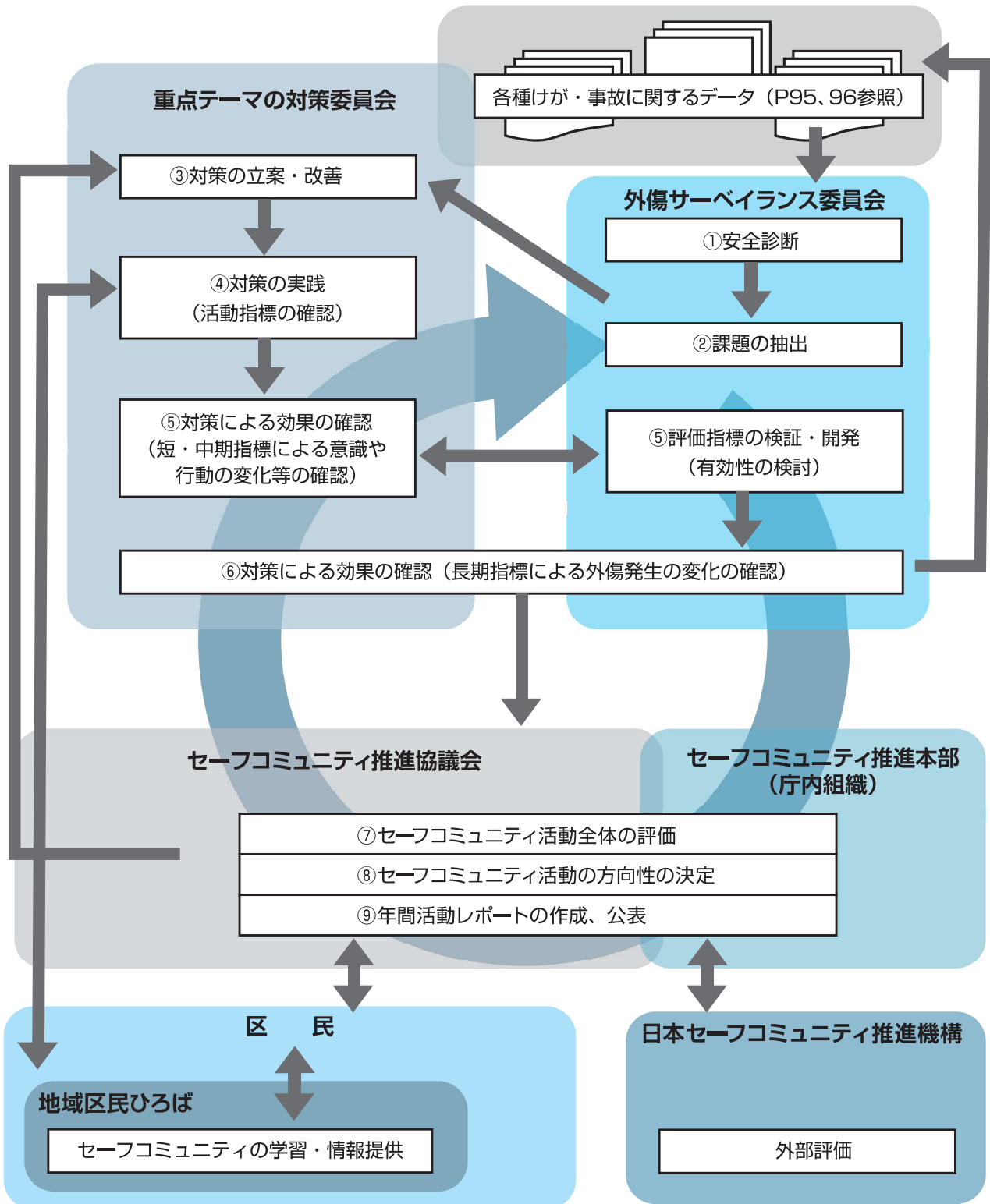


指標6 予防活動の効果・影響を測定・評価する仕組み

1 セーフティプログラムの進行管理

豊島区では、外傷サーベイランスにより収集した多様なデータに基づき、計画（PLAN）・実行（DO）・検証（CHECK）・改善（ACTION）のサイクルを回しながら、セーフコミュニティ活動を進めていきます。



2 重点テーマに対応した効果の検証方法

(1) 子どものけが・事故予防

[取り組みの全体像]



予防対象 家庭における乳幼児のけが・事故



課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 家庭での予防策の実施率の向上	1-1 子ども事故予防センターを活用した普及啓発	①子ども事故予防センターの認知度	①家庭内における医療機関にかかるようなけがの発生率 ②家庭内での受傷による救急搬送件数・発生率
	1-2 区民ひろば（子育てひろば）での予防プログラム	②家庭での予防策の実施率	

予防対象 子ども施設（保育園）における子どものけが・事故


課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
2 子どもの危険回避能力の向上	2 子ども等への安全教育	③保育園における転倒事故の割合	③保育園でのけが・事故の発生率
3 園児同士の衝突を予防する環境整備及び安全管理の向上	3 園児の衝突事故防止や予防的視点での点検と対策	④施設・設備の危険・不具合箇所の発見数	


①短中期的成果指標の確認

	指標名	指標の概要（①類型 ②対象 ③方法 ④頻度）					
対策 1-1 	①子ども事故予防センターの認知度	①アンケート調査 ②1歳6か月・3歳児健康診査の対象児の保護者 ③家の中で危険を予防する工夫をしていることがあると回答した人の割合 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	認知度			60.3%	70.9%	72.5%	75.2%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
認知度		77.7%	77.2%	76.6%	72.4%	69.0%	
対策 1-1 1-2 	②家庭での予防策の実施率	①アンケート調査 ②1歳6か月・3歳児健康診査の対象児の保護者 ③子ども事故予防センターを知っていると回答した人の割合 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	1歳6か月児			41.8%	50.8%	54.9%	56.4%
	3歳児			23.5%	38.1%	38.8%	40.9%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	1歳6か月児		55.6%	55.0%	56.8%	57.3%	58.4%
3歳児		40.9%	43.1%	42.2%	45.2%	45.7%	

対策2	③保育園における転倒事故の割合 		①けが等の発生記録 ②区立保育園入所児童 ③事故発生状況報告書中、転倒事故件数の割合 ④毎年				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	割合						26.4%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	割合		28.1%	32.0%	35.8%	34.5%	29.0%
対策3	④家庭での予防策の実施率 		①対策実施による数値 ②区立保育園 ③建物の外側、室内、設備、遊戯物等に変形及び不具合を発見した箇所数 ④毎年				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	発見数	561 箇所	702 箇所	603 箇所	529 箇所	466 箇所	575 箇所
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	発見数		498 箇所	566 箇所	546 箇所	475 箇所	429 箇所

②長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
①家庭内における医療機関にかかるようなけがの発生率		① アンケート調査 ② 1歳6か月・3歳児健康診査の対象児の保護者 ③ 今までに、医療機関にかかるようなけがをしたことがあると回答した人の割合 ④ 毎年					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016	
1歳6か月			6.4%	10.1%	11.5%	12.8%	
3歳			9.1%	13.1%	15.1%	15.3%	
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
1歳6か月		12.4%	12.8%	11.5%	12.8%	12.7%	
3歳		13.5%	14.2%	11.9%	13.7%	16.5%	
②家庭内での受傷による救急搬送件数・発生率 		① 救急搬送データ ② 住宅における受傷により救急搬送された0～4歳の乳幼児 ③ ・発生件数 ・0～4歳人口1万人あたりの発生率 ④ 毎年					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016	
搬送件数	94 件	91 件	83 件	100 件	99 件	101 件	
発生率 (1万人あたり)	112.0 件/万人	105.6 件/万人	92.9 件/万人	108.1 件/万人	105.2 件/万人	105.1 件/万人	
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
搬送件数		100 件	124 件	111 件	115 件	129 件	
発生率 (1万人あたり)		102.2 件/万人	125.8 件/万人	112.3 件/万人	119.8 件/万人	139.9 件/万人	

③保育園でのけが・事故の発生率 	①けが等の発生記録 ②保育園入所児童 ③園児数に占める事故発生状況報告数の割合 ④毎年						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	発見数	7.0%	10.5%	8.4%	9.1%	8.4%	11.5%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
発見数		12.4%	16.9%	17.6%	14.0%	16.8%	
1 か月あたりの発生率※		1.0%	1.4%	1.5%	1.4%	1.4%	

※2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、4月10日から5月30日までの期間を臨時休園とした。こうした特殊要因を踏まえた年度比較とするために、2017年度以降の数値には下段に「1か月あたりの発生率」を併記（事故件数／集計時点園児数 × 保育実施月数）

③主な収集データ

	名 称	対 象	内 容
	死亡統計 [1年]	・ 区内居住者	・ 死因が「不慮の事故」と判別された区内在住0歳、1～4歳
①	乳幼児健診時アンケート調査 [1年] 【傷害】	・ 1歳6及び3歳を迎えるすべての乳幼児の保護者 ・ 各1,500人程度	・ 健診受診案内送付時にアンケート用紙を送付、受診時に回収
	【意識行動】		
②	救急搬送データ [1年] 【傷害】	・ 区内出場し病院へ搬送した件数、0～5歳	・ 住宅内での受傷により救急搬送 ・ 「住宅」かつ「屋内」で絞り込み
③	保育所けが・事故記録 [1年] 【傷害】	・ 区立認可保育所入所児童	・ 医療機関にかかったけがを記録

④成果指標と収集データの対応関係

		成 果 指 標	データ収集方法
家庭	短①	子ども事故予防センターの認知度	①アンケート調査 [1年]
	短②	家庭での予防策の実施率	【意識行動】
	長①	家庭内での医療機関にかかるようなけがの発生率	【傷害】
	長②	家庭内での受傷による救急搬送件数・発生率	② 救急搬送データ [1年]
保育園	短③	転倒事故の割合	③保育所けが・事故の記録 [1年] 【傷害】
	短④	施設・設備の危険・不具合箇所の発見数	対策実施による数値
	長③	保育園でのけが・事故の発生率	③保育所けが・事故の記録 [1年] 【傷害】

※色の凡例 けが等の発生記録、 救急搬送データ、 傷害アンケート、 意識・行動アンケート

(2) 高齢者の安全

[取り組みの全体像]

予防対象 高齢者の転倒

課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 身体機能の低下抑制	1-1,2,3 転倒予防のための運動プログラム 1-4 転倒予防に対する意識向上	① 高齢者の運動実施率	① 転倒の経験率 ② 家庭内での転倒受傷による救急搬送件数・発生率
2 住宅内の環境改善	2-1 自宅における転倒リスクの再確認プログラム	② 転倒防止のための家庭環境の改善率	
	2-2 高齢者の住宅改修助成	③ 住宅バリアフリー化率	

予防対象 高齢者の溺れ

課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
3 溺れに関するリスクの理解向上	3-1 本人と周囲への普及啓発	④ 入浴事故に対する理解度	③ 入浴事故の対策をしている家庭の割合

予防対象 高齢者の窒息

課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
4 口腔機能維持	4-1 オーラルフレイル対策	⑤ 嚥下機能が良好な人の割合	④ 窒息・誤飲による救急搬送件数





予防対象 高齢者の虐待

課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
5 虐待の早期発見・対応	5-1 関係機関とのネットワーク化	⑥ 地域ネットワークを通じた高齢者虐待の発見率	⑤ 重篤な高齢者虐待の発生率
6 認知症予防	5-2、6-1 虐待及び認知症に関する普及啓発	⑦ 高齢者虐待に関する相談件数 ⑧ 高齢者虐待に対する理解度	
	6-2 認知症の介護者支援	⑨ 認知症に対する理解度	





① 短中期的成果指標の確認


指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
対策 1-1 1-2 1-3 1-4	① 高齢者の運動実施率	① アンケート調査 (生活元気度チェック) ※2014 年度までアンケート調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査) ※2017 年度から ② 生活機能評価実施者 / 65 歳以上の区民 (要介護認定者除く) ③ 「運動している」と回答した人の割合 ④ 3 年毎 (2013 年度から実施) / 毎年 (2017 年度から実施)					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	—	—	78.5%	68.4%	—	—
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		60.2%	63.8%	59.5%	61.4%	81.5%

対策 2-1	②転倒防止のための家庭環境の改善率 		①対策実施による数値 ②自宅における転倒リスク再確認プログラム受講者 ③プログラム受講後の年度末において、継続して室内環境の整理整頓を行っている受講者の割合 ④ 毎年（2013年度から実施） ※ 2015年度以降はアンケート未実施。2020、2021年度は新型コロナウイルスの影響で事業未実施。				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	—	—	87.7%	89.3%	—	—
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		—	—	—	—	—
対策 2-2	③住宅バリアフリー化率		①住宅・土地統計調査（総務省統計局） ②65歳以上の世帯員のいる世帯が居住している住宅 ③「65歳以上の世帯員のいる世帯数」のうち、「一定のバリアフリー化」がなされている割合 ④ 5年毎				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	—	—	[住宅全体] 41.5% [借家・共同住宅] 17.1%	—	—	—
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		—	[住宅全体] 40.2% [借家・共同住宅] 23.0%	—	—	—
対策 3-1	④入浴事故に対する理解度【新規】 		①アンケート調査（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査） ②65歳以上の区民（要介護認定者除く） ③ヒートショックを知っていると回答した人の割合 ④3年毎（2019年度から実施）				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	—	—	—	—	—	—
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		—	—	68.2%	—	—
対策 4-1	⑤嚙下機能が良好な人の割合【新規】 		①豊島区高齢者歯科健診票 ②豊島区高齢者歯科健診の受診者（76・78・80・82・84歳の区民） ③嚙下機能が「良好」と診断された人の割合 ④毎年（2021年度から実施）				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標		—	—	—	—	—
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		—	—	—	—	94.6%

<p>対策 5-1</p> <p>⑥地域ネットワークを通じた高齢者虐待の発見率</p> <p> 高める</p>	<p>①対策実施による数値</p> <p>②介護保険事業所、地域住民等</p> <p>③高齢者総合相談センターが受ける虐待に関する相談の中から、虐待として受理した件数のうち、介護保険事業所、地域住民等からの通報に基づく受理件数の割合</p> <p>④毎年</p>						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	55.6%	60.9%	70.0%	73.5%	68.4%	75.6%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		76.6%	73.5%	82.2%	79.5%	78.9%
<p>対策 5-2 6-1</p> <p>⑦高齢者虐待に関する相談件数</p> <p> 減らす</p>	<p>①対策実施による数値</p> <p>②介護保険事業所、地域住民等</p> <p>③高齢者総合相談センターが受けた虐待に関する相談件数</p> <p>④毎年</p> <p>※2020年度はコロナウイルス流行の影響による活動自粛から、介護サービスが思うように利用できないなど家族のストレスのたまりやすい状況が高まり、虐待に関する相談が上昇したと考えられます。</p>						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	1,349 件	1,095 件	1,357 件	1,016 件	909 件	931 件
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		841 件	761 件	794 件	1,036 件	817 件
<p>対策 5-2 6-1</p> <p>⑧高齢者虐待に対する理解度</p> <p> 高める</p>	<p>①アンケート調査（協働のまちづくりに関する区民意識調査）</p> <p>②18 歳以上区民（5,000 人）</p> <p>③どのような行為が虐待にあたるか、心配な状況を発見した際の対応方法を知っていると回答した人の割合（2013 年度） / 心配な状況を発見した際の対応方法を知っていると回答した人の割合（2016 年度以降）</p> <p>④ 3 年毎（予定）（2013 年度から実施）</p>						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	-	-	31.0%	-	-	-
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		-	-	30.0%	-	-
<p>対策 6-2</p> <p>⑨認知症に対する理解度【新規】</p> <p> 高める</p>	<p>①アンケート調査（協働のまちづくりに関する区民意識調査）</p> <p>②18 歳以上区民（5,000 人）</p> <p>③認知症の方について、心配な状況を発見した際の対応方法を知っていると回答した人の割合</p> <p>④ 3 年毎（予定）（2019 年度から実施）</p>						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	-	-	-	-	-	-
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		-	-	35.1%	-	-

② 長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
①転倒の経験率 		①アンケート調査 (生活元気度チェック) ※2014 年度まで アンケート調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査) ※2018 年度から ②生活機能評価実施者 / 65 歳以上の区民 (要介護認定者除く) ③生活機能評価実施者で過去 1 年間に転倒した人のうち、一定期間以上日常動作ができなくなる怪我をした割合 (2014 年度まで) / 区民で過去 1 年間に転んだことがある人の割合 (2018 年度から) ④ 3 年毎 (2013 年度から実施) / 毎年 (2018 年度から実施) ※ 2014 年度までの指標「転倒によるけがの経験率」					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016	
指標	-	-	38.0%	35.7%	-	-	
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
指標		-	31.2%	29.2%	28.4%	26.3%	
②家庭内での転倒受傷による救急搬送件数・発生率 		①豊島区救急搬送データ ②住宅における転倒で受傷し救急搬送された65歳以上 ③住宅での転倒、転落・滑落により中等症以上のけがをした件数、高齢者人口 1 万人あたりの数 ④毎年					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016	
指標	253 件 48.7 件/万人	306 件 57.3 件/万人	287 件 53.7 件/万人	286 件 50.9 件/万人	321 件 56.2 件/万人	298 件 51.9 件/万人	
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
指標		350 件 60.8 件/万人	308 件 53.5 件/万人	329 件 57.3 件/万人	334 件 58.3 件/万人	303 件 53.2 件/万人	
③入浴事故の対策をしている家庭の割合【新規】 		①アンケート調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査) ②65 歳以上の区民 (要介護認定者除く) ③入浴時の事故を防ぐために何かしらの対策をしていると回答した高齢者の割合 ④ 3 年毎 (2019 年度から実施)					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016	
指標	-	-	-	-	-	-	
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
指標		-	-	72.6%	-	-	
④窒息・誤飲による救急搬送救急件数【新規】 		①豊島区救急搬送データ ②窒息・誤飲で受傷し救急搬送された 65 歳以上 ③窒息・誤飲により救急搬送された件数 ④ 毎年 (2018 年から「窒息」を予防対象へ)					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016	
指標	-	-	-	-	-	-	
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
指標		-	19 件	19 件	15 件	14 件	

⑤重篤な高齢者虐待の発生率 	①対策実施による数値 ②65歳以上の高齢者 ③高齢者総合相談センターが受けた虐待に関する相談のうち、虐待として受理し、高齢者福祉課が対応した件数の65歳以上人口に占める割合 ④毎年（2014年度から実施） ※2020年度はコロナウイルス流行の影響による活動自粛から、介護サービスが思うように利用できないなど家族のストレスのたまりやすい状況が高まり、虐待に関する相談が上昇したと考えられます。						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	-	-	-	0.05%	0.04%	0.04%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
指標		0.04%	0.03%	0.04%	0.06%	0.03%	

③主な収集データ

	名称	対象	内容
	死亡統計 [1年]	・区内居住者	・死因が「不慮の事故」と判別された区内在住65歳以上の人
①	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査[1年]【傷害】	・要介護認定者を除く65歳以上の人	[設問] 過去1年間に転んだ経験がありますか [選択肢] 「何度もある」「一度ある」の計
	[3年]【意識行動】		[設問] ヒートショックにより意識を失い、時には死亡につながるような重篤な事故が増えることを知っていますか [選択肢] 「知っている」
			[設問] 日ごろ運動をしていますか [選択肢] 「毎日している」「週2~3回程度している」「週1回程度している」「月2~3回程度している」の計
			[設問] 入浴時の事故を防ぐために何か対策をしていますか [選択肢] 全体から「特に何もしていない」「無回答」を除いた数
	住宅・土地統計調査 [5年]	・区内の住宅に住む世帯	・65歳以上の世帯員のいる世帯総数における「一定のバリアフリー化」の数
②	救急搬送データ [1年]【傷害】	・区内出場し病院へ搬送した件数、65歳以上	・住宅内での転倒受傷の数 ・受傷程度を「中等症以上」で絞り込み
			・事故発症時動作「窒息・誤飲（気道）」の数
	高齢者歯科健診票[1年]	・高齢者歯科健診の受診者（76・78・80・82・84歳の区民）	・高齢者歯科健診において、嚥下機能が「良好」と診断された人
③	協働のまちづくり意識調査 [3年、2019年度]【意識行動】	・18歳以上の区民5,000人無作為抽出 ・回収率 36.5% (2019年度)	[設問] 高齢者虐待について、発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先について [選択肢] 「ある程度具体的に知っている」「部分的には知っている」の計
			[設問] 認知症の方について、発見した際の通告・通報制度、連絡・相談先について [選択肢] 「ある程度具体的に知っている」「部分的には知っている」の計

※色の凡例 救急搬送データ、 傷害アンケート、 意識・行動アンケート

④成果指標と収集データの対応関係

		成果指標	データ収集方法
転倒	短①	高齢者の運動実施率	①アンケート調査 [1年] 【意識行動】
	短②	転倒防止のための家庭環境の改善率	対策実施による数値
	短③	住宅バリアフリー化率	住宅・土地統計調査 [5年]
	長①	転倒の経験率	①アンケート調査 [1年] 【傷害】
	長②	家庭内での転倒受傷による救急搬送件数・発生率	②救急搬送データ [1年] 【傷害】
溺れ	短④	入浴事故に対する理解度	①アンケート調査 [3年] 【意識行動】
	長③	入浴事故の対策をしている家庭の割合	①アンケート調査 [3年] 【意識行動】
窒息	短⑤	嚥下機能が良好な人の割合	高齢者歯科健診票 [1年]
	長④	窒息・誤飲による救急搬送件数	②救急搬送データ [1年] 【傷害】
虐待	短⑥	地域ネットワークを通じた高齢者虐待の発見率	対策実施による数値
	短⑦	高齢者虐待に関する相談件数	対策実施による数値
	短⑧	高齢者虐待に対する理解度	③アンケート調査 [3年] 【意識行動】
	短⑨	認知症に対する理解度	③アンケート調査 [3年] 【意識行動】
	長⑤	重篤な高齢者虐待の発生率	対策実施による数値

※色の凡例 救急搬送データ、 傷害アンケート、 意識・行動アンケート

(3) 障害者の安全

[取り組みの全体像]



予防対象 障害者の外出時のけが・事故




課 題	対 策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 街なかでの情報伝達手段の確保及びバリアフリー化の推進 【情報のバリアフリー】 【まちのバリアフリー】	1 音声による道案内	①shikAI ルート数	①障害者の外出時におけるけがの経験率 ②障害者のバリアフリー満足度 ③区民のバリアフリー満足度
2 障害者への支援方法の周知 【こころのバリアフリー】	2-1 ヘルプマーク・ヘルプカードの配布 2-2 障害者サポートへのサポート	②豊島区が行っている防災対策で知っているもののうち、ヘルプマークと回答した人の割合 ③障害者が困っているのを見かけたとき、声をかけられなかった人の割合	④障害者の災害時対応想定満足度

予防対象 障害者の災害時における危険や孤立



課 題	対 策	短中期 成果指標	長期 成果指標
3 災害時の備え、サポート方法の対策 【情報のバリアフリー】 【こころのバリアフリー】	3-1 災害時における障害者への自助、共助 3-2 災害等を想定した訓練への参加	④「豊島区障害者防災の手引き」改訂版の認知度 ⑤訓練参加実績	④障害者の災害時対応想定満足度



①短中期的成果指標の確認

	指標名	指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)						
対 策 1	shikAI ルート数【新規】 	①対策実施による数値 ②視覚障害者 ③ルート敷設数 ④毎年(開始年 2021 年から)						
		年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
		割合	/					
		年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合		2%						
対 策 2	豊島区が行っている防災対策で知っているもののうち、ヘルプマークと回答した割合 	①アンケート調査 ②障害者 ③豊島区が行っている防災対策で知っているもののうち、ヘルプマークと回答した人の割合 ④3 年毎(開始年 2019 年から)						
		年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
		割合	/					
		年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合		31.5%						

対策3	障害者が困っているのを見かけたとき、声をかけられなかった人の割合 		①アンケート調査 ②20歳～74歳区民（3,000人） ③街中で障害者が困っているのを見かけたとき、声をかけられなかったと回答した人の割合 ④3年毎				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	割合	22.1%	-	23.9%	-	-	25.2%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合		-	-	-	-	-	
対策4	「豊島区障害者防災の手引き」改訂版の認知度【新規】 		①アンケート調査 ②障害者 ③「豊島区障害者防災の手引き」改訂版を知っていると回答した人の割合 ④3年毎（開始年2019年から）				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	割合						
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合				20.0%			
対策5	訓練参加実績【新規】 		①対策実施による数値 ②障害者・安全対策委員会委員 ③防災訓練に参加した回数 ④毎年（開始年2019年から）				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	割合						
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合				1回		(中止1回)	

②長期的成果指標の確認

指標名	指標の概要（①類型 ②対象 ③方法 ④頻度）					
①障害者の外出時におけるけがの経験率 	①アンケート調査 ②障害者 ③過去1年間において、外出時にけがをしたことがあると回答した人の割合（括弧内は視覚障害者の割合） ④3年毎					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
割合	(34.9%)	-	18.1% (36.7%)	-	-	16.4% (35.2%)
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合		-	-	13.9% (41.0%)	-	-
②障害者のバリアフリー満足度 	①アンケート調査 ②障害者 ③まちのバリアフリーについて満足していると回答した人の割合（括弧内は視覚障害者の割合） ④3年毎					
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
割合	(22.2%)	-	43.1% (21.7%)	-	-	40.3% (29.5%)
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合		-	-	45.2% (42.6%)	-	-

③区民のバリアフリー満足度 		①アンケート調査 ②20歳～74歳区民（3,000人） ③まちのバリアフリーについて満足していると回答した人の割合 ④3年毎				
年	2010	2012 認証	2013	2014	2015	2016
割合	19.5%	-	19.5%	-	-	18.3%
年		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合		-	-	-	-	-
④障害者の災害時対応想定満足度【新規】 		①アンケート調査 ②障害者 ③災害時を想定した対応方法について安心感があると回答した人の割合（とても安心感がある / おおむね安心感がある） ④3年毎（開始年2019年から）				
年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
割合						
年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
割合				18.9%	-	-

③主な収集データ

	名称	対象	内容
①	地域保健福祉計画改定のための区民意識・意向調査 [3年、2016年度] 【意識行動】	20歳以上 3,000人	[設問] 街中で障害者が困っているのを見かけたとき、どうしますか [選択肢] 「声をかけることができない」「どのように声をかければよいかわからない」の計
			[設問] まちのバリアフリーについて満足していますか [選択肢] 「とても満足」「おおむね満足」の計
②	障害者等実態・意向調査 [3年、2019年度] 【意識行動】	身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児等計 4,364人	[設問] 外出時、ここ1年以内に「けが」をしたことがありますか [選択肢] 「ある」「ない」
			[設問] まちのバリアフリーについて満足していますか [選択肢] 「とても満足」「おおむね満足」の計
	【傷害】		外出時におけるけがの経験

④成果指標と収集データの対応関係

	成果指数	データ収集方法
短②	豊島区が行っている防災対策で知っているもののうち、ヘルプマークと回答した割合	アンケート調査②[3年]
短③	障害者が困っているのを見かけたとき、声をかけられなかった人の割合	アンケート調査①[3年]
短④	「豊島区障害者防災の手引き」改訂版を知っていると回答した人の割合	アンケート調査②[3年]
長①	過去1年間において、外出時にけがをしたことがあると回答した人の割合	アンケート調査②[3年]
長②	まちのバリアフリーについて満足していると回答した人の割合	アンケート調査②[3年]
長③	まちのバリアフリーについて満足していると回答した人の割合	アンケート調査①[3年]
長④	災害時を想定した対応方法について安心感があると回答した人の割合（とても安心感がある / おおむね安心感がある）	アンケート調査②[3年]



(4) 自転車利用の安全

[取り組みの全体像]


予防対象 子どもと高齢者の事故・けが

課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 自転車のルール・マナー、交通安全意識の向上	1-1 路上啓発活動や交通安全教室の実施	①親子自転車安全利用教室の満足度 ②自転車運転ルールの遵守に対する意識	①自転車交通事故の発生件数 ②自転車事故受傷による救急搬送人数・発生率
	1-2 自転車用ヘルメットの普及啓発	③子どものヘルメット着用率	
2 交通安全環境の向上	2 標識や路面表示等の新設・改修		
3 地域における危険箇所の周知	3 交通安全啓発マップの作成と普及	④交通事故発生場所等の認知度	

①短中期的成果指標の確認



	指標名	指標の概要（①類型 ②対象 ③方法 ④頻度）					
対策 1-1	①自転車運転ルールの遵守に対する意識 	①アンケート調査 ②18歳以上の区民（5,000人） ③ルールを遵守していると思う人の割合 ④原則3年毎					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	ルール遵守	24.1%	—	—	—	—	18.0%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	ルール遵守		—	—	18.6%	—	—
対策 1-1 1-2	②親子自転車安全利用教室の満足度【新規】 	①アンケート調査 ②親子自転車安全利用教室に参加した保護者 ③「おおいに満足」、「満足」と回答した人の割合の計 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	講義内容（座学）						
	実技指導						
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	講義内容（座学）			93.3%	90.0%	—	—
実技指導			91.1%	100%	—	—	

※2020年及び2021年は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、親子自転車安全利用教室は中止したため、アンケートは未実施。

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
対策 1-2	③子どものヘルメット着用率	①アンケート調査 ②区立小学校児童 区内（公設公営・公設民営・私立認可）保育園に在園する乳幼児の保護者 ③小学生自身が運転する場合の着用率 乳幼児を自転車に乗せる際にヘルメット着用させている保護者の割合 ④小学生 原則3年毎 乳幼児 毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	小学生	-	-	25.3%	-	-	-
	乳幼児	-	41.0%	50.0%	54.0%	55.0%	56.5%
	年度	-	2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	小学生	-	-	35.2%	-	-	39.3%
乳幼児	-	62.4%	62.9%	69.9%	68.4%	71.2%	
対策 3	④交通事故発生場所等の認知度 	①アンケート調査 ②18歳以上の区民（5,000人） ③周辺で交通事故発生場所、危ないと思われる場所の認知度 ④3年毎					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	認知度	-	-	45.3%	-	-	45.8%
	年度	-	2017 再認証	2018	2019	2020	2021
認知度	-	-	-	50.8%	-	-	

※ 2019年4月、区内で重大な交通事故が発生し全国的なニュースになった影響により、区民の交通事故発生場所等の認知度が上がったと推測される。

②長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
①自転車交通事故の発生件数 	①統計資料（警察統計） ②区内の交通事故 ③自転車に関する交通事故 ④毎年						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	中学生以下	28件	23件	16件	9件	12件	13件
	65歳以上	48件	46件	25件	37件	21件	42件
	年度	-	2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	中学生以下	-	12件	20件	5件	12件	13件
65歳以上	-	35件	51件	38件	38件	60件	
②自転車事故受傷による救急搬送人数・発生率 	①救急搬送データ ②自転車乗車中における中等症以上のけがにより救急搬送された0～14歳及び65歳以上の人数 ③発生人数 人口1万人あたりの受傷者数 ④毎年						

	年	2011	2012認証	2013	2014	2015	2016
	0～14歳	6人 26人/万人	7人 31人/万人	4人 17人/万人	5人 21人/万人	8人 33人/万人	5人 20人/万人
	65歳以上	30人 58人/万人	28人 52人/万人	30人 55人/万人	24人 43人/万人	20人 35人/万人	30人 52人/万人
	年		2017再認証	2018	2019	2020	2021
	0～14歳		5人 20人/万人	7人 27人/万人	2人 08人/万人	2人 08人/万人	3人 12人/万人
	65歳以上		25人 43人/万人	34人 59人/万人	32人 56人/万人	33人 58人/万人	25人 44人/万人

③主な収集データ

	名 称	対 象	内 容
	死亡統計 [1年]	・区内居住者	・死因が「交通事故」と判別された区内在住の者
	警察統計(交通事故) [1年]	・区内発生事故	・「中学生以下」及び「65歳以上」の交通事故発生について集計
①	協働に関する区民意識調査 [3年] 【意識行動】	・区内に2年以上在住する18歳以上の区民5,000人無作為抽出 ・直近2019年度	[設問] お住まいの地域で、道路交通法で決められている自転車の運転ルールは守られていると感じていますか。 【選択肢】 「よく守られている」「だいたい守られている」の割合の計 [設問] お住まいの周辺で、交通事故発生場所、危ないと思われる場所があることを知っていますか。 【選択肢】 「複数の具体的な場所を知っている」「一つは具体的な場所を知っている」の計
②	親子自転車安全利用教室参加者アンケート [1年] 【意識行動】	・親子自転車安全利用教室参加者 ・直近2019年度	[設問] 講義内容(座学)・実技指導の感想は。 【選択肢】 「おおいに満足」「満足」の割合の計
③	ヘルメット着用に関するアンケート(小学校) [原則3年]【意識行動】	・区立学校の児童 ・直近2021年度	[設問] 自転車に乗るときヘルメットをつけていますか。 【選択肢】 「いつも着けている」
④	ヘルメット着用に関するアンケート(保育園) [1年]【意識行動】	・区立保育所等保護者 4,421名	[設問] お子さんを自転車に乗せるとき、ヘルメットを着用させていますか。 【選択肢】 「いつも着けている」
⑤	救急搬送データ [1年]【傷害】	・区内出場し病院へ搬送した人数	・受傷程度を「中等症以上」で絞り込み ・「0～14歳」及び「65歳以上」について集計

④成果指標と収集データの対応関係

成果指数		データ収集方法	
短①	自転車運転ルールの遵守に対する意識	アンケート調査 [3年] 【意識行動】	
短②	親子自転車安全利用教室の満足度	アンケート調査 [1年] 【意識行動】	
短③	子どものヘルメット着用率	小学校	アンケート調査 [原則3年] 【意識行動】
		保育園	アンケート調査 [1年] 【意識行動】
短④	交通事故発生場所等の認知度	アンケート調査 [3年] 【意識行動】	
長①	自転車交通事故の発生件数	中学生以下	警察統計
		65歳以下	
長②	自転車事故受傷による救急搬送人数・発生率	救急搬送データ [1年] 【傷害】	

※色の凡例 救急搬送データ、 意識・行動アンケート

(5) 繁華街の安全

[取り組みの全体像]

予防対象 池袋繁華街地区における犯罪・暴力によるけが

課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 犯罪・暴力を許さない環境	1 環境浄化パトロール活動	①刑法犯認知件数	①暴行・傷害の発生件数
	2 池袋駅西口駅前広場対策	②池袋繁華街地区の安心感	②犯罪・暴力等による救急搬送件数

①短中期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
対策 1・2	① 刑法犯認知件数 	①統計資料 (警察統計) ②池袋繁華街地区 ③刑法犯認知件数 ④毎年					
	年度	2011	2017再認証	2018	2019	2020	2021
	認知件数	3,232 件	2,331 件	2,181 件	1,950 件	1,424 件	1,587 件
対策 1・2	②池袋繁華街地区の安心感 	①アンケート調査 ②18歳以上の区民 (5,000人) ③池袋駅周辺 (繁華街) の治安について「安心感がある」と回答した人の割合 ④3年毎					
	年度	2011	2017再認証	2018	2019	2020	2021
	安心感		-	-	25.6%	-	-

②長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
	① 暴行・傷害の発生件数 	①統計資料 (警察統計) ②池袋繁華街地区 ③暴行・傷害発生件数 ④毎年					
	年度	2011	2017再認証	2018	2019	2020	2021
	発生件数	179 件	173 件	161 件	155 件	134 件	149 件
	②犯罪・暴力等による救急搬送件数 	①救急搬送データ ②池袋繁華街地区 ③暴力・加害によるけがにより救急搬送された件数 ④毎年					
	年度	2011	2017再認証	2018	2019	2020	2021
	搬送件数	131 件	173 件	139 件	94 件	86 件	79 件

③主な収集データ

	名称	対象	内容
	警察統計（犯罪等） [1年]	池袋繁華街地区 (東池袋1・3、南池袋1・2、西池袋1・3、池袋2)	刑法犯認知件数 暴行・傷害の発生件数
①	協働のまちづくり意識調査 [3年、2022] 【意識行動】	・18歳以上の区民 5,000人 無作為抽出 ・郵送 ・回収率 36.5%	[設問] 池袋駅周辺（繁華街地区）の体感治安について [選択肢] 「とても安心感がある」「やや安心感がある」の割合の合計値。
②	救急搬送データ [1年] 【傷害】	・繁華街で「加害」による事故やけがにより救急搬送された人	池袋繁華街地区で「加害」による事故やけがにより受傷し、救急搬送された人の合計値。

④成果指標と収集データ 対応関係

	成果指数	データ収集方法
短①	刑法犯認知件数	警察統計 [1年]
短②	池袋繁華街地区の安心感	①アンケート調査 [3年] 【意識行動】
長①	暴行・傷害の発生件数	警察統計 [1年]
長②	犯罪・暴力等による救急搬送件数	②救急搬送データ [1年] 【傷害】

※色の凡例 救急搬送データ、 意識・行動アンケート



(6) 地震災害の防止

[取り組みの全体像]

予防対象 地震発生直後における死傷

課 題	対 策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 木造住宅密集地域の改善	1 住民参加の防災まちづくり	①不燃領域率 ②建築物の耐震化率	地震被害による死傷者数
2 各家庭での居室内の安全性確保	2 家具転倒防止等防災知識の普及啓発	③大きなゆれに対する建物内の備えの実施率	
3 住民による初期対応力の向上	3-1 地域防災訓練の実施	④地域防災訓練（災害時の初動対応を含む実動訓練）への参加率	
	3-2 合同防災訓練の実施	⑤合同防災訓練（救援センター開設・運営訓練）の習熟度	
4 避難支援体制の整備	4 高齢者等の安否確認・避難支援体制の確立	⑥要支援者避難誘導訓練の実施率 ⑦「救援センター」の認知度	
5 池袋駅周辺の混乱防止	5-1 災害発生時行動ルールの普及・啓発	⑧一斉帰宅抑制ルールの理解度 ⑨帰宅困難者対策訓練への参加者数の累計	
	5-2 帰宅困難者対策の連携強化	⑩事業所等との連携協力協定の締結数	


①短中期的成果指標の確認

	指標名	指標の概要（①類型 ②対象 ③方法 ④頻度）					
対策 1	① 不燃領域率 (市街地の延焼のしにくさを表す指標) 	①統計資料 ②居住環境総合整備事業実施地区 ③上記地区の面積に占める耐火建築物の敷地及び幅員6メートル以上の道路等の公共施設の面積から算出 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	不燃領域率	58.35%	59.06%	59.93%	60.78%	61.38%	62.02%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	不燃領域率		62.25%	62.95%	63.78%	64.21%	64.75%
対策 1	②建築物の耐震化率 	①統計資料 ②耐震基準など耐震性が不十分な建築物 ③住宅・土地統計調査を基に耐震化した建物の率を算出 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	81.0%	82.0%	84.1%	86.4%	88.3%	90.1%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		90.4%	90.9%	91.5%	92.0%	92.2%

対策 2	③大きなゆれに対する建物内の備えの実施率 	①アンケート調査 ②18歳以上区民(5,000人) ③大きな揺れに対する備えの実施率の平均 ④3年毎					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	実施率	27.7%	-	28.4%	-	-	26.8%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	実施率		-	-	28.3%	-	-
対策 3-1	④地域防災訓練(災害時の初動対応を含む実働訓練)への参加率 	①アンケート調査 ②18歳以上区民(5,000人) ③地域の防災訓練に参加した経験のある人の割合 ④3年毎					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	参加率	-	-	-	-	-	22.1%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	参加率		-	-	22.3%	-	-
対策 3-2	⑤合同防災訓練(救援センター開設・運営訓練)の習熟度 	①アンケート調査 ②合同防災訓練参加者 ③救援センター開設・運営訓練の習熟度 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	理解率	-	-	-	-	-	92.5%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	参加率		91.3%	96.8%	-	-	97.2%
対策 4	⑥要支援者避難誘導訓練の実施率 	①事業実施による数値 ②町会 ③要支援者避難誘導訓練 ④毎年(2015年から実施)					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	実施率	-	-	-	-	34.1%	21.9%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	実施率		23.2%	24.8%	-	-	21.9%
対策 4	⑦「救援センター」の認知度 	①アンケート調査 ②18歳以上区民(5,000人) ③自分が避難する「救援センター」を知っていると回答した人の割合 ④3年毎					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	認知度	34.2%	-	42.6%	-	-	41.5%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	認知度		-	-	43.3%	-	-

対策 5-1	⑧一斉帰宅抑制ルールの理解度 		①アンケート調査 ②18歳以上区民(5,000人) ③安全が確認できるまで外出先などにとどまると回答した人の割合 ④3年毎				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	理解度	-	-	62.5%	-	-	63.5%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	理解度		-	-	63.9%	-	-
対策 5-1	⑨帰宅困難者対策訓練への参加者数の累計 		①対策実施による数値 ②区民、来街者等 ③帰宅困難者対策訓練への参加者数の2008年度からの累計 ④毎年				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	参加者累計 各年度参加者	8,687名	11,919名 3,232名	13,892名 1,973名	20,961名 7,069名	22,061名 1,100名	22,911名 850名
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	参加者累計 各年度参加者		23,827名 916名	24,842名 1,015名	25,733名 891名	25,733名 0名	25,811名 78名
対策 5-1	⑩事業所等との連携協力協定の締結数 		①対策実施による数値 ②区内事業所等 ③事業所等との帰宅困難者対策の連携協力に関する協定の締結数 ④-				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	締結数	0事業所	0事業所	17事業所	21事業所	22事業所	23事業所
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	締結数		23事業所	25事業所	27事業所	30事業所	30事業所

②長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
①地震災害による死傷者数 	①震災被害の統計 ②豊島区 ③調査 ④震災発生時						
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	締結数		死者 121名 負傷者 2,778名	-	-	-	-
	年度		2017 再認証	2018~2021		2022.5	
想定		-	-		死者 55名 負傷者 1,362名		

③主な収集データ

名称	対象	内容
地震災害による被害想定 【その他】	豊島区	一定の被害想定に基づく死傷者数
土地利用現況調査 [5年] 【その他】	区内の土地建物	居住環境総合整備事業地区における耐火、準耐火の性能を持つ建物の割合
建築統計 [1年] 【その他】	区内の建築物	耐震性が不十分な建物(1980年以前の旧耐震基準)の割合

協働のまちづくり意識調査 [3年、2016] 【意識行動】	・18歳以上の区民 5,000人無作為抽出 ・郵送 ・回収率 39.3%	[設問] 大きな揺れに備え、どのような対策をとっていますか（対策を6項目列挙） [選択肢] 6項目の実施率を平均
		[設問] 最近1年間に、区や町会等が実施する地域防災訓練や避難訓練に参加したことがありますか [選択肢] 「参加したことがある」「自分は参加したことはないが、家族が参加したことがある」の計
		[設問] 地域ごとに小中学校などを「救援センター」として指定しています、知っていますか [選択肢] 「自分が避難するセンターがどこか知っている」の割合
		[設問] 外出時に大規模な地震が発生し、公共交通機関の運行が停止した場合、あなたはどのようにしますか [選択肢] 「安全が確認できるまで、職場や学校、外出先にとどまる」の割合
合同防災（救援センターの開設・運営）訓練の理解度調査 [合同防災訓練ごと、2021] 【意識行動】	合同防災訓練参加者	[設問] 訓練参加後、救援センターの開設・運営について理解できましたか。 [選択肢] 「十分または概ね理解できた。」の割合

成果指標		データ収集方法
短①	建築物の耐火率（居住環境総合整備事業実施区域）	土地利用現況調査 [5年] 【その他】
短②	建築物の耐震化率	建築統計 [1年] 【その他】
短③	大きなゆれに対する建物内の備えの実施率	協働のまちづくり意識調査 [3年・郵送] 【意識行動】
短④	地域防災訓練（災害時の初動対応を含む実働訓練）への参加率	
短⑤	合同防災訓練（救援センター開設・運営訓練）の習熟度	合同防災訓練の理解度調査 [合同防災訓練ごと] 【意識行動】
短⑥	要支援者避難誘導訓練の実施率	事業実施による数値
短⑦	「救援センター」の認知度	協働のまちづくり意識調査 [3年・郵送] 【意識行動】
短⑧	一斉帰宅抑制ルールを理解度	
短⑨	帰宅困難者対策訓練への参加者数の累計	対策実施による数値
短⑩	事業所等との連携協力協定の締結数	
長①	地震被害による死傷者数	

※色の凡例 意識・行動アンケート

(7) 児童虐待の防止

[取り組みの全体像]

予防対象 就学前児童の虐待

課 題	対 策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 子育て支援の充実	1-1 親の子育て力向上支援【ノーバディズ・パーフェクト】	①子育て方法などの理解度 (1)	児童虐待等の相談発生率
	1-1 親の子育て力向上支援【ペアレント・トレーニング】	②子育て方法などの理解度 (2)	
	1-2 子ども家庭支援センターにおける相談	③養育支援が必要な家庭の発見数 (1)	
	1-3 こんにちは赤ちゃん事業	④養育支援が必要な家庭の発見数 (2)	

予防対象 虐待の潜在化

課 題	対 策	短中期 成果指標	長期 成果指標
2 早期発見・早期通告	2-1 虐待防止ネットワークによる見守り	⑤児童虐待等要支援家庭の改善率	児童虐待等の相談発生率
	2-2 関係機関や区民に対する講演会	⑥児童虐待に対する認知度	

①短中期的成果指標の確認

	指標名	指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
対策 1-1	① 子育て方法などの理解度 (1)	①対策実施による数値 ②ノーバディズ・パーフェクト参加者 ③プログラム終了1年後、講座後のアンケート調査により、プログラムの効果、子育て方法などの理解度の定着度を測定 ④毎年 (2013年度から実施)					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標						
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
指標		78.18%	72.82%	75.9%	81.4%	88.2%	
対策 1-1	② 子育て方法などの理解度 (2)	①対策実施による数値 ②ペアレント・トレーニング参加者 ③プログラム終了1年後、講座後のアンケート調査により、プログラムの効果、子育て方法などの理解度の定着度を測定 ④毎年 (2018年度から効果測定実施)					
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標						
	指標			52%	53%	63%	71%

対策 1-2	③養育支援が必要な家庭の発見数 (1)		①対策実施による数値 ②子ども家庭支援センターの訪問相談を受けた者 ③上記②のうち、養育困難などの支援が必要な件数・発生率 ④毎年				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	295 件	222 件	164 件	288 件	304 件	227 件
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		500 件	417 件	245 件 (9.46%)	329 件 (8.87%)	526 件 (13.28%)
対策 1-3	④養育支援が必要な家庭の発見数 (2)		①対策実施による数値 ②こんにちは赤ちゃん事業による家庭訪問を受けた者 ③上記②のうち、養育困難などで支援が必要な件数・発生率 ④毎年				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	305 件	300 件	315 件	396 件	424 件	595 件
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		532 件	540 件	538 件 (26.6%)	540 件 (33.0%)	521 件 (30.4%)
対策 2-1	⑤児童虐待等要支援家庭の改善率		①対策実施による数値 ②ネットワークで見守りを行っている世帯 ③上記②の世帯のうち、虐待のリスクが低下するなどして改善した率 ④毎年				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	37.0%	47.4%	47.4%	26.2%	31.5%	47.5%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		46.0%	52.8%	36.1%	54.8%	45.7%
対策 2-2	⑥児童虐待に対する認知度		①アンケート調査 ②18 歳以上区民 (5,000 人) ③どのような行為が虐待にあたるか、心配な状況を発見した際の対応方法を知っていると回答した人の割合 ④3 年毎				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標			43.8%	-	-	47.5%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		-	-	50.5%	-	-

②長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
①児童虐待等の相談発生率	①児童虐待等の相談発生率		①対策実施による数値 ②18 歳未満の子ども ③児童虐待等の対応率 (最下段 2021 年は就学前児童のみの発生率) ④毎年				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	指標	1.65%	1.43%	1.24%	1.51%	2.21%	2.54%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	指標		2.36%	2.49%	2.39%	3.06%	3.53% (3.77%)

③主な収集データ

	名 称	対 象	内 容
	児童虐待の発生 [1年]	・相談、通告	・受理会議による要支援家庭の判定
①	協働のまちづくり意識調査 [3年、2019年度]	・18歳以上の区民 5,000人 無作為抽出 ・郵送・回収率 36.5%	[設問] あなたは児童虐待について、どのような行為が虐待や暴力にあたるか、心配な状況を見つけた際の通告・通報制度、連絡・相談先などについて知っていますか。 [選択肢] 「ある程度具体的に知っている」「部分的には知っている」との回答割合の計

④成果指標と収集データ 対応関係

	成果指数	データ収集方法
短①	子育て方法などの理解度 (1)	対策実施による数値
短②	子育て方法などの理解度 (2)	対策実施による数値
短③	養育支援が必要な家庭の発見数 (1)	対策実施による数値
短④	養育支援が必要な家庭の発見数 (2)	対策実施による数値
短⑤	児童虐待等要支援家庭の改善率	対策実施による数値
短⑥	児童虐待に対する認知度	①アンケート調査 [3年] 【意識行動】
長①	児童虐待等の相談発生率	行政の判定会議による数値

※色の凡例 意識・行動アンケート

(6) ドメスティック・バイオレンスの防止



[取り組みの全体像]

予防対象 配偶者等パートナーへ暴力


課題	対策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1 DV被害の潜在化・重度化の防止	1 DV相談	①DV相談窓口の認知度 ②DV相談件数	①DV被害の経験率
2 DV加害者及び被害者であることの気づき	2 DV及びデートDV予防啓発	③中学校デートDV予防教室（実施前、実施後）暴力に対する認知変化	
3 DV発生の背景にある「性別に起因する差別意識」の解消	3 DV対応関係者の理解促進	④区民のDVに対する理解（精神的暴力項目） ⑤区職員のDVに対する理解（精神的暴力項目）	

①短中期的成果指標の確認

指標名		指標の概要（①類型②対象③方法④頻度）					
対策 1-1 	①DV相談窓口の認知度	①アンケート調査 ②18歳以上区民（5,000人） ③「配偶者等からの暴力（DV）に関する相談機関が周知されている」と回答した人の割合 ④毎年 ※2016年に指標を変更。					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	認知度			-	-	-	6.6%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	認知度		7.0%	6.8%	8.3%	8.4%	9.8%
対策 1-2 	②DV相談件数	①対策実施による数値 ②DV相談利用者 ③区のDV相談利用者とは他機関との連携により対応した件数 ④毎年 ※2013年に配偶者暴力相談支援センター開設					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	件数			310件	397件	438件	545件
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	件数		503件	573件	535件	716件	573件
対策 2-1 	③中学校デートDV予防教室（実施前、実施後）暴力に対する認知変化	①アンケート調査 ②区立中学校 ※コロナ禍により、2019年度は1校、2020年度は5校に実施。 ③10種類の暴力を「どんな場合でも暴力に当たる」と回答した生徒の割合 ④毎年 ※2017年より、デートDV予防教室におけるアンケート調査の開始					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	理解度			-	-	-	-
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	理解度	実施前		19.0%	26.9%	21.3%	19.6%
	実施後		77.0%	79.3%	48.1%	69.8%	78.8%

対策 3-1	④ 区民のDVに対する理解度 		①アンケート調査 ②18歳以上男女(2,000人) ③上精神的暴力に対する正しい認識を持つ区民の割合 ④5年毎 ※2017年に指標を変更。2015年のデータは、同年実施のアンケート調査結果から抜粋。				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	理解度	43.6%		-	-	14.7%	-
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	理解度		-	-	-	22.2%	-
対策 3-2	⑤区職員のDVに対する理解度 		①アンケート調査 ②区職員全員 ③DV防止全チェック項目に高い意識を持つ職員の割合 ④5年毎(2012年度は未実施)				
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	理解度	43.6%		-	-	31.9%	-
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	理解度		-	-	-	37.2%	-

②長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
①DV被害の経験率 	①アンケート調査 ②18歳以上男女(2,000人) ③パートナーから暴力を受けた経験がある。 ④5年毎 ※2016年に指標を変更。2015年のデータは、同年実施のアンケート調査結果から抜粋。						
	年	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	経験率		-	-	-	24.7%	-
	年		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	経験率		-	-	-	12.6%	-

③主な収集データ

	名称	対象	内容
	DVの発生[1年]	・相談窓口への相談	
①	協働のまちづくりに関する区民意識調査 [毎年、2020年度]	・18歳以上の区民 5,000人無作為抽出 ・郵送 ・回収42.9%	[設問] 配偶者からの暴力(DVドメスティックバイオレンス)に関する相談機関が周知されているか。 [選択肢] 「どちらかというと思う」の回答割合(他:「どちらともいえない」「どちらかというと思わない」)
②	男女共同参画社会に関する住民意識調査 [5年、2020年度]	・18歳以上の区民 2,000人無作為抽出 ・郵送 ・回収36.7%	[設問] 社会的に配偶者への暴力(DV)が問題になっていますが、配偶者間で次のようなことが行われた場合、あなたはそれを暴力だと思いますか。 [選択肢] 精神的暴力の項目について、「どんな場合でも暴力にあたると思う」の回答割合(他:「暴力の場合も、そうでない場合もあると思う」「暴力にあたるとは思わない」)

③	区職員の男女平等意識に関する調査 [5年、2020年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・区職員全員 ・ポータルアンケート ・回収率 34.2% 	<p>[設問] 暴力にあたる行為を12項目列挙</p> <p>[選択肢] 精神的暴力の項目について、「どんな場合にも暴力にあたる」と回答した割合（他：「暴力の場合も、そうでない場合もあると思う」「暴力にあたるとは思わない」）</p>
---	---------------------------------	--	--

④成果指標と収集データの対応関係

	成果指標	データ収集方法
短①	DV相談の認知度	①協働のまちづくりに関する区民意識調査 [毎年]
短②	年間DV相談件数	②配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数調査 [毎年]
短③	中学校デートDV予防教室（実施前、実施後）暴力に対する認知変化	③区立中学校デートDV予防教室アンケート調査 [毎年]
短④	区民のDVに対する理解（精神的暴力項目）	④男女共同参画社会に関する住民意識調査 [5年]
短⑤	区職員のDVに対する理解（精神的暴力項目）	⑤区職員の男女平等意識に関する調査 [5年]
長①	DV被害の経験率	①アンケート調査 [2年] 【意識行動】

※色の凡例 意識・行動アンケート



(9) 自殺・うつ病の予防




[取り組みの全体像]

予防対象 子ども・若者及び中年期


課 題	対 策	短中期 成果指標	長期 成果指標
1-1. 心の居場所づくり 2-1. 部門を越えた相談窓口の連携による自殺危機要因の連鎖の防止 2-2. 40歳から50歳代のメンタルヘルス対策	1. 相談窓口の周知・連携	①気分が落ち込んだ時に援助を求める行動がとれる人の割合	①自殺死亡者数・率
	2. ゲートキーパーの養成	②ゲートキーパー養成研修・講座の受講者の累計	
	3. うつ病等の受診支援(未治療・治療中断者)	③精神科治療や保健福祉関係者につながった割合	
1-2. 自殺未遂者支援	4. 若者のこころの健康づくり	④意識的にストレスを解消する人の割合	①自殺死亡者数・率 ②自損行為による救急搬送件数・発生率
	5. 自殺未遂者支援	⑤医療機関が支援を繋いだ自殺未遂者の件数	


①短中期的成果指標の確認

	指標名	指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
対 策 1	①気分が落ち込んだ時に援助を求める行動がとれる人の割合 	①アンケート調査 ② 区民意識調査 (20~79歳) における回答者 ③「気分が落ち込んだ時、悩みを相談できる人や機関がある」と回答 ④3年毎 (2013年度から実施)					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	解消割合			47.3%	-	-	51.2%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	解消割合		-	-	2020年に延期	51.9%	-
対 策 2	②ゲートキーパー養成研修・講座の受講者数の累計 	①対策実施による数値 ②ゲートキーパー研修・講座の受講者 ③ゲートキーパーを3層に分け、2009年度からの受講者数の累計 I層：ゲートキーパー指導者 II層：地域や職場でのゲートキーパーの役割が期待できる人 III層：家族、友人、近隣の人等で変化に気づき声をかける人 ④ 毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	I層	4人	5人	9人	11人	11人	11人
	II層	103人	214人	314人	631人	852人	966人
	III層	252人	252人	321人	366人	401人	648人
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
I層		11人	11人	11人	11人	11人	
II層		1,076人	1,213人	1,337人	1,372人	1,496人	
III層		929人	1,114人	1,364人	1,467人	1,488人	

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
対策3	③精神科治療や保健福祉関係者に つながった割合 	①対策実施による数値 ②精神科医師による精神保健福祉相談利用者 ③専門相談において、医師から精神科受診を勧められた者のうち、 6か月以内に以下の対応につながった割合 ・精神科受診をした人 ・保健福祉関係者と継続的につながっている人 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	受診等割合	80%	80%	80%	92.3%	83.3%	64.2%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	受診等割合		82.4%	82.6%	76.9%	72.7%	83.3%
対策4	④意識的にストレスを解消する人の割合 	①アンケート調査 ②「区民意識調査」における20歳代及び30歳代の回答者 ③「ストレスを解消するために意識的に何かしている」と回答した人の割合 ④3年毎					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	行動割合	67.4%	-	68.3%	-	-	65.9%
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	行動割合		-	-	2020年に延期	74.3%	-
対策5	⑤医療機関と連携した自殺未遂者の支援件数 	①対策実施による数値 ②自損行為により3次救急病院へ搬送された区民で、病院から保健所への連絡に承諾した者 ③3次救急病院から保健所へ連絡が入り職員が対応した件数 ④毎年					
	年度	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
	支援件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件
	年度		2017 再認証	2018	2019	2020	2021
	支援件数		2件	5件	1件	5件	2件

②長期的成果指標の確認

指標名		指標の概要 (①類型 ②対象 ③方法 ④頻度)					
①自殺死亡者数・率 	①統計資料(人口動態統計) ②自殺死亡者 ③人口10万人あたりの発生件数 ④毎年						
	年	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
自殺死亡者数	47人	47人	61人	48人	50人	38人	
自殺死亡率 (10万人あたり)	16.3人 /10万人	16.3人 /10万人	21.0人 /10万人	16.3人 /10万人	16.7人 /10万人	12.8人 /10万人	
年		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
自殺死亡者数		42人	45人	55人	51人	集計中	
自殺死亡率 (10万人あたり)		14.1人 /10万人	15.0人 /10万人	18.3人 /10万人	18.6人 /10万人		



②自損行為による救急搬送件数・発生率 	①救急搬送データ ②自損行為により区内で救急搬送された者 ③人口1万人あたりの発生件数 ④毎年						
	年	2011	2012 認証	2013	2014	2015	2016
搬送件数 発生率 (1万人あたり)	114件 4.2件 /万人	8114件 4.2件 /万人	110件 4.6件 /万人	108件 3.9件 /万人	84件 3.0件 /万人	101件 3.6件 /万人	
年		2017 再認証	2018	2019	2020	2021	
搬送件数 発生率 (1万人あたり)		89件 3.1件 /万人	93件 3.2件 /万人	95件 3.3件 /万人	106件 3.7件 /万人	112件 4.0件 /万人	

③主な収集データ

	名称	対象	内容
	死亡統計 [1年]	区内居住者	死因が「自殺」と判別された区民
①	区民健康意識調査 [3年、2020年度] 【意識行動】	<ul style="list-style-type: none"> ・20～79歳の区民 3,000人無作為抽出 ・回収率 40.8% 	<p>[設問] あなたは、気分が落ち込んだ時に、悩みを相談できる人や機関(窓口)はありますか <input type="checkbox"/> 選択肢 「相談できる人がいる、機関(窓口)を知っている」との回答の割合</p> <p>[設問] あなたはストレスを解消するために何かをしていますか。 <input type="checkbox"/> 選択肢 「している」との回答の割合</p>
②	救急搬送データ [1年] 【傷害】	区内出場し病院へ搬送した件数	「自損行為」によるだけ

④成果指標と収集データの対応関係

	成果指数	データ収集方法
短①	気分が落ち込んだ時に援助を求める行動がとれる人の割合	①アンケート調査 [3年] 【意識行動】
短②	ゲートキーパー養成研修・講座の受講者数の累計	対策実施による数値
短③	精神科治療や保健福祉関係者につながった割合	対策実施による数値
短④	意識的にストレスを解消する人の割合	①アンケート調査 [3年] 【意識行動】
短⑤	医療機関と連携した自殺未遂者の支援件数	対策実施による数値
長①	自殺死亡者数・率	人口動態統計 [1年]
長②	自殺未遂による救急搬送 件数・発生率	②救急搬送データ [1年]

※色の凡例  救急搬送データ、  意識・行動アンケート